

## 人生にかがやきを

### ののいちマナビフェスタ 2022

にぎわいの里ののいち カミーノで3月5日(土)・6日(日)の両日に渡り、市制施行 10 周年を記念したののいちマナビフェスタ 2022 を開催しました。このイベントは、こころの豊かさや生きがいにつながる生涯学習のお祭りとして毎年開催しているものです。今回も新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、公民館サークルや各種団体が日ごろ習得した成果や取り組みを発表しました。会場を埋め尽くす作品の数々からは、遺憾なく発揮された才能や努力、楽しんで学習する姿が感じられました。



①ステージ発表を行う郷吟詠会の皆さん②会場に華を添える生け花の数々、明倫高校華道部からの発表もありました③若い人もテラホラ、プロ棋士藤井聡太さんの影響があるのかも④サークルによる力作が所狭しと飾られていました⑤各種ワークショップも大人気です



7段飾りから手作りのものまで、会館いっぱいには並びました。

## 今日は楽しいひなまつり

### 丸木町会 ひな人形を鑑賞する会

丸木町会では「コロナ禍の今できること」を考え、丸木会館でひな人形を鑑賞する会を初開催しました。町会住民へ“結ネット”でひな人形やつるし飾りなどの提供を呼びかけ、18人が手を挙げました。3月3日(木)には福祉施設の利用者約30人を招待。来場者は「昔を思い出します。これだけそろえるのは大変」と話し、ひなまつりの雰囲気を楽しみました。鑑賞後はトーンチャイムの体験も実施。来場者は「ほんわかチャイム」の皆さんと『うれしいひなまつり』を演奏しました。



日常を「価値のある感謝すべきもの」と話したのが印象的でした。

## 感謝の思いを風にのせて

### 市内小中学校 卒業式

3月11日(金)に中学校、17日(木)に小学校の卒業式が挙行され、中学生476人と小学生570人が学び舎を旅立ちました。野々市中学校では、石井利幸校長が「可能性を自分で潰すことなく、粘り強く取り組んでください」と式辞を述べ、卒業生代表の東優芽さんが「休業や行事の中止で当たり前のありがたさを知りました。一步一步自分の足で歩き、私たちだけの正解を探します」と答えました。式典後には校舎を出て、3年間の感謝を込めてRADWIMPSの『正解』を合唱しました。

# Focus

まちの話題  
皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎ 227-6056

## ツバキに魅せられた2日間

### 花と緑ののいち椿まつり 2022

野々市に春の訪れを告げるまつり「ののいち椿まつり」が3月12日(土)・13日(日)に開催されました。会場となった文化会館フォルテやののいち椿館では、色とりどりの多様なツバキが来場者を迎えました。街中のツバキをボランティアガイドののいち里まち倶楽部のガイドと巡る「椿の里ちよこっとウォーク」やののいち椿館のツバキを管理人が案内する「ガイドツアー」も大人気で、参加者は今まで知らなかったまちやツバキの新たな一面を楽しんでいる様子でした。



①実は後ろにお兄ちゃんが隠れています②市内の家庭から集めたツバキを展示③ののいち太鼓 小嵐のランチタイムコンサート④ツバキを題材にした市民の力作が並びました⑤折り紙でツバキづくり⑥日本酒「狸々(しょうじょう)」やキウイワインなどを試飲して舌鼓⑦ののいち椿館ガイドツアーでは、花の特徴や由縁などの解説を聞きツバキをより一層深く知ることができました⑧ののいち椿館内の水盆は写真映えスポット⑨椿の里ちよこっとウォークで訪れた太平寺カフェで、町内住民による作品を鑑賞しました⑩太平寺にあるツバキ「野々市」の原木

